

物類品隲^三
草

江戸中期の博物学書。平賀源内著。1763年(宝暦13)刊。

黄耆

(略)

○綿黄耆 根柔ニシテ、味甘モノ上品ナリ藥肆鐵椎ヲ以テ木
黄耆ヲ打テ綿ノ如クナルモノアリ用ベカラズ○豊後産上
品莖葉苦參ノゴトク特生ス五六月淡黄花ヲ開ク状槐花ノ
ゴトシ花謝シテ後短小角ヲ結ブ根直ニ土ニ入コト二三尺
皮赤色ニシテ甘草ニ似タリ肉白柔靱ニシテ綿ノゴトク味
甘シ丁丑主品中田村先生具^レ之○下野日光山産上品莖葉大
抵豊後産ニ同ジ豊後産ニ比スレバ幹弱ク叢生シテ去^レ地^ラ
數寸根柔ニシテ味甘シ○信濃戸隱山地藏谷産至テ上品ナ
リ其形大抵日光産ニ同ジ花淡黄色又紫花ノモノアリ實ノ状
翹搖子ニ似テ長寸許ニシテ扁ナリ根柔ニ味甘シテ餘味ア
エンドウノミ
ヒトニキリ
リ大サ一虎口ノモノアリ同國善光寺青山仲菴是ヲ得タリ
壬午客品中具^レ之

○木黄耆 (以下略)

註 国会図書館デジタルコレクション「物類品隣の巻」

[3]」よゝ。DOI 10.11501/2555267